

2019 年度事業計画

(2019 年 4 月 1 日から 2020 年 3 月 31 日)

当法人は、愛媛県内の高等学校及び大学に在籍する生徒又は学生で、学業優秀でありながら経済的理由により修学が困難な者に対し、奨学金を給付し、もって社会有用の人材を育成することを目的とする。(定款第 3 条)

この目的を達成するために次の公共目的事業を行なう。(定款第 4 条)

- (1) 奨学金の給付事業
- (2) 奨学生の人材育成のために必要な事業
- (3) その他前各号に関連する事業

1. 奨学金の給付事業

県内の高校、大学、大学院に在籍する学生生徒(留学生を含む)の中から奨学生選考委員会に於いて奨学生を選考し、高等学校奨学生に月額3万円、大学及び大学院奨学生に月額4万円を採用年度の4月から在籍最短修業年限まで支給する。

当年度新規奨学生採用数は奨学金原資(三浦工業の株式配当金)を 9,300 万円と見込む。

(1) 奨学金給付

- | | | |
|--------|-----------------------|--------|
| ・高等学校生 | 現在籍数(29名)+ 新規採用数(35名) | 計(64名) |
| ・大学生 | 現在籍数(18名)+ 新規採用数(12名) | 計(30名) |
| ・大学院生 | 現在籍数(2名)+ 新規採用数(3名) | 計(5名) |

・全奨学生	現在籍数(49名)+ 新規採用数(50名)	計(99名)	3984万円
-------	-----------------------	--------	--------

(2) 電子辞書の贈呈

新奨学生を対象に電子辞書を贈呈する。

約 3 万円×50 名=150 万円

よって給付総額は 4,134 万円とする。

なお特定費用準備資金(奨学金拡充資産)より 720 万円を充当予定である。

新規奨学生は、2019 年 5 月 15 日開催予定の「奨学生選考委員会」にて選考し、2019 年 5 月 22 日開催予定の「理事会」へ答申し決定するものとする。

2. 奨学生の人材育成のために必要な事業

(1) 海外研修旅行(第 24 回)

奨学生が海外での現地生活を実体験することにより、見聞を広め、言語や異文化を正しく理解し、将来の国際化に役立ててもらうために企画している。

- ・参加人数 奨学生参加者 6 名 + 事務局引率 2 名 = 合計 8 名
- ・予算 397 万円(為替変動により変動あり)
- ・実施期間 2019 年度夏期休校時
- ・行先 カナダ(予定)

(2) 国内研修旅行(第 15 回)

国内の様々な職種のモノ造り企業を見学し、今後の職業選択や企業の理解に役立ててもらう他、近郊の文化施設も同時に訪問し高質な情操教育を行うために企画している。

- ・参加人数 奨学生参加者 20 名 + 事務局引率 2 名 = 合計 22 名
- ・予算 300 万円
- ・実施期間 2019 年度春期休校時等
- ・行先 国内で都度企画(企業・美術館・テーマパーク等)

(3) 懇談会

グループ討議や会食を通じて、奨学生間の交流と情報交換を図る他、奨学生への法人関係者(評議員・役員・選考委員等)からの体験談や訓話等を通して、奨学生の知識や考え方の幅を広げることを目的に企画している。

- ・参加人数 85~100 名程度(奨学生・役員・評議員・奨学生選考委員・事務局)
- ・予算 60 万円
- ・開催予定日及び開催場所 2019 年 12 月 15 日(日) 三浦工業(株)リラトレセンター
(参考:2018 年 12 月 17 日(日)開催の懇談会は、役員 8 人、評議員 5 人、奨学生選考委員 3 人、奨学生 80 人 出席しました。)
- ・書籍の贈呈 奨学生全員に書籍(2 冊)を贈呈。 30 万円
よって懇談会費は 90 万円とする。

(4) 機関誌「三浦だより」(VOL.26)発刊

当法人の情報提供の他、評議員・理事・監事・奨学生選考委員による寄稿、1 年間の活動状況や奨学生が書いた「海外研修感想文」「国内研修感想文」「奨学生レポート」などを掲載し、奨学生だけでなく高校・大学などその他関連する機関に配布する事により、当法人の活動を PR している。

- ・部数 400 冊
- ・予算 60 万円
- ・発刊時期 2019 年 5 月予定

(特別事業) ホストファミリー招待費用(海外研修費に含む)

1995年度～2017年度迄の海外研修で34組ものホストファミリーに受入れして頂いた。中でも貢献度の高いホストファミリー2組を日本に招待しさらに親睦を深める為に企画している。

- ・参加人数 ホストファミリー(2名) × 2組 = 合計4名
- ・予 算 245万円
- ・実施期間 2019年11月予定・2020年3月予定
- ・行 先 東京・松山(予定)